

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床工学技士科(夜間部)		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演 習
科 目 名	国家試験対策		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	90 時間(単位)
対 象 学 年	3年		学期及び曜時限	後期	教室名	
担 当 教 員	澤田 正二	実務経験とその関連資格	臨床工学技士として28年西陣病院に勤務し、臨床工学科科長として、血液浄化、呼吸、医療機器管理、手術室業務に従事した他、医療安全管理室において医療機器安全管理責任者を兼務。認定医療機器管理臨床工学技士、透析技術認定師。			
《授業科目における学習内容》						
国家試験科目についての重要ポイントの確認と最近の問題傾向についての対策を行う						
《成績評価の方法と基準》						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
標準テキスト						
《授業外における学習方法》						
過去問を解くことと、関連するテキストを熟読すること						
《履修に当たっての留意点》						
授業までに当該科目の問題は解いておくこと。実際のスケジュールについては別途掲示しますのでそれを確認すること。						
授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	授業内容についての国家試験問題を理解して解くことができる。	配布プリント	過去問を解くこと、テキストを熟読しておく	
		各コマにおける授業予定	人工心肺① 構成要素について			
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	授業内容についての国家試験問題を理解して解くことができる。	配布プリント	過去問を解くこと、テキストを熟読しておく	
		各コマにおける授業予定	人工心肺② 病態生理について			
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	授業内容についての国家試験問題を理解して解くことができる。	配布プリント	過去問を解くこと、テキストを熟読しておく	
		各コマにおける授業予定	人工心肺③ 運転・合併症・トラブル対応			
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	授業内容についての国家試験問題を理解して解くことができる。	配布プリント	過去問を解くこと、テキストを熟読しておく	
		各コマにおける授業予定	人工心肺④ 補助循環について			
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	授業内容についての国家試験問題を理解して解くことができる。	配布プリント	過去問を解くこと、テキストを熟読しておく	
		各コマにおける授業予定	人工呼吸療法① 呼吸生理学について			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	授業内容についての国家試験問題を理解して解くことができる。	配布プリント	過去問を解くこと、テキストを熟読しておく
		各コマにおける授業予定	人工呼吸療法② 呼吸モードについて		
第7回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	授業内容についての国家試験問題を理解して解くことができる。	配布プリント	過去問を解くこと、テキストを熟読しておく
		各コマにおける授業予定	人工呼吸療法③ 人工呼吸管理・トラブル対応について		
第8回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	授業内容についての国家試験問題を理解して解くことができる。	配布プリント	過去問を解くこと、テキストを熟読しておく
		各コマにおける授業予定	人工呼吸療法④ 加温加湿、酸素療法、NPPVについて		
第9回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	授業内容についての国家試験問題を理解して解くことができる。	配布プリント	過去問を解くこと、テキストを熟読しておく
		各コマにおける授業予定	血液浄化① 概要、原理、抗凝固について		
第10回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	授業内容についての国家試験問題を理解して解くことができる。	配布プリント	過去問を解くこと、テキストを熟読しておく
		各コマにおける授業予定	血液浄化② バスキュラーアクセス、透析膜について		
第11回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	授業内容についての国家試験問題を理解して解くことができる。	配布プリント	過去問を解くこと、テキストを熟読しておく
		各コマにおける授業予定	血液浄化③ 透析液、合併症について		
第12回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	授業内容についての国家試験問題を理解して解くことができる。	配布プリント	過去問を解くこと、テキストを熟読しておく
		各コマにおける授業予定	血液浄化④ コンソール、水処理装置、計算問題について		
第13回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	授業内容についての国家試験問題を理解して解くことができる。	配布プリント	過去問を解くこと、テキストを熟読しておく
		各コマにおける授業予定	安全管理学① 人体の電撃反応と漏れ電流について		
第14回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	授業内容についての国家試験問題を理解して解くことができる。	配布プリント	過去問を解くこと、テキストを熟読しておく
		各コマにおける授業予定	安全管理学② 病院電気設備について		
第15回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	授業内容についての国家試験問題を理解して解くことができる。	配布プリント	過去問を解くこと、テキストを熟読しておく
		各コマにおける授業予定	安全管理学③ 医療ガスについて		

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床工学技士科(夜間部)		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演 習
科 目 名	国家試験対策		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	90 時間(単位)
対 象 学 年	3年		学期及び曜時限	後期	教室名	
担 当 教 員	澤田 正二	実務経験とその関連資格	臨床工学技士として28年西陣病院に勤務し、臨床工学科科長として、血液浄化、呼吸、医療機器管理、手術室業務に従事した他、医療安全管理室において医療機器安全管理責任者を兼務。認定医療機器管理臨床工学技士、透析技術認定師。			
《授業科目における学習内容》						
国家試験科目についての重要ポイントの確認と最近の問題傾向についての対策を行う						
《成績評価の方法と基準》						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
標準テキスト						
《授業外における学習方法》						
過去問を解くことと、関連するテキストを熟読すること						
《履修に当たっての留意点》						
授業までに当該科目の問題は解いておくこと。実際のスケジュールについては別途掲示しますのでそれを確認すること。						
授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第16回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	授業内容についての国家試験問題を理解して解くことができる。	配布プリント	過去問を解くこと、テキストを熟読しておく	
		各コマにおける授業予定	安全管理学④ システム工学、電磁障害について			
第17回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	授業内容についての国家試験問題を理解して解くことができる。	配布プリント	過去問を解くこと、テキストを熟読しておく	
		各コマにおける授業予定	治療機器学① エネルギーデバイス(電気メス、超音波メス、レーザーメス)について			
第18回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	授業内容についての国家試験問題を理解して解くことができる。	配布プリント	過去問を解くこと、テキストを熟読しておく	
		各コマにおける授業予定	治療機器学② 除細動器、ペースメーカーについて			
第19回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	授業内容についての国家試験問題を理解して解くことができる。	配布プリント	過去問を解くこと、テキストを熟読しておく	
		各コマにおける授業予定	治療機器学③ カテーテル治療、アブレーションについて			
第20回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	授業内容についての国家試験問題を理解して解くことができる。	配布プリント	過去問を解くこと、テキストを熟読しておく	
		各コマにおける授業予定	治療機器学④ 内視鏡、シリンジポンプ、輸液ポンプについて			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	授業内容についての国家試験問題を理解して解くことができる。	配布プリント	過去問を解くこと、テキストを熟読しておく
		各コマにおける授業予定	計測装置学① 心音、脈波、血圧、血流の計測について		
第22回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	授業内容についての国家試験問題を理解して解くことができる。	配布プリント	過去問を解くこと、テキストを熟読しておく
		各コマにおける授業予定	計測装置学② 呼吸の計測、ガス分析について		
第23回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	授業内容についての国家試験問題を理解して解くことができる。	配布プリント	過去問を解くこと、テキストを熟読しておく
		各コマにおける授業予定	計測装置学③ 画像診断装置について		
第24回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	授業内容についての国家試験問題を理解して解くことができる。	配布プリント	過去問を解くこと、テキストを熟読しておく
		各コマにおける授業予定	解剖生理学① 心臓と脈管系、血液と体液について		
第25回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	授業内容についての国家試験問題を理解して解くことができる。	配布プリント	過去問を解くこと、テキストを熟読しておく
		各コマにおける授業予定	解剖生理学② 呼吸器系、腎泌尿器系について		
第26回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	授業内容についての国家試験問題を理解して解くことができる。	配布プリント	過去問を解くこと、テキストを熟読しておく
		各コマにおける授業予定	解剖生理学③ 消化と吸収、内分泌、神経系について		
第27回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	授業内容についての国家試験問題を理解して解くことができる。	配布プリント	過去問を解くこと、テキストを熟読しておく
		各コマにおける授業予定	臨床医学総論① 内科学全般について		
第28回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	授業内容についての国家試験問題を理解して解くことができる。	配布プリント	過去問を解くこと、テキストを熟読しておく
		各コマにおける授業予定	臨床医学総論② 循環器学、呼吸器学、腎泌尿器学		
第29回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	授業内容についての国家試験問題を理解して解くことができる。	配布プリント	過去問を解くこと、テキストを熟読しておく
		各コマにおける授業予定	臨床医学総論③ 内分泌疾患、消化器学、血液学、神経病学		
第30回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	授業内容についての国家試験問題を理解して解くことができる。	配布プリント	過去問を解くこと、テキストを熟読しておく
		各コマにおける授業予定	電気電子工学① 電磁気学について		

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床工学技士科(夜間部)		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演 習
科 目 名	国家試験対策		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	90 時間(単位)
対 象 学 年	3年		学期及び曜時限	後期	教室名	
担 当 教 員	澤田 正二	実務経験とその関連資格	臨床工学技士として28年西陣病院に勤務し、臨床工学科科長として、血液浄化、呼吸、医療機器管理、手術室業務に従事した他、医療安全管理室において医療機器安全管理責任者を兼務。認定医療機器管理臨床工学技士、透析技術認定師。			
《授業科目における学習内容》						
国家試験科目についての重要ポイントの確認と最近の問題傾向についての対策を行う						
《成績評価の方法と基準》						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
標準テキスト						
《授業外における学習方法》						
過去問を解くことと、関連するテキストを熟読すること						
《履修に当たっての留意点》						
授業までに当該科目の問題は解いておくこと。実際のスケジュールについては別途掲示しますのでそれを確認すること。						
授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第31回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	授業内容についての国家試験問題を理解して解くことができる。	配布プリント	過去問を解くこと、テキストを熟読しておく	
		各コマにおける授業予定	電気電子工学② 直流回路について			
第32回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	授業内容についての国家試験問題を理解して解くことができる。	配布プリント	過去問を解くこと、テキストを熟読しておく	
		各コマにおける授業予定	電気電子工学③ 交流回路について			
第33回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	授業内容についての国家試験問題を理解して解くことができる。	配布プリント	過去問を解くこと、テキストを熟読しておく	
		各コマにおける授業予定	電気電子工学④ 過渡現象について			
第34回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	授業内容についての国家試験問題を理解して解くことができる。	配布プリント	過去問を解くこと、テキストを熟読しておく	
		各コマにおける授業予定	電気電子工学⑤ トランジスタ・ダイオードについて			
第35回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	授業内容についての国家試験問題を理解して解くことができる。	配布プリント	過去問を解くこと、テキストを熟読しておく	
		各コマにおける授業予定	電気電子工学⑥ 増幅回路について			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第36回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	授業内容についての国家試験問題を理解して解くことができる。	配布プリント	過去問を解くこと、テキストを熟読しておく
		各コマにおける授業予定	電気電子工学⑦ デジタル回路について		
第37回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	授業内容についての国家試験問題を理解して解くことができる。	配布プリント	過去問を解くこと、テキストを熟読しておく
		各コマにおける授業予定	電気電子工学⑧ 電源回路、通信工学について		
第38回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	授業内容についての国家試験問題を理解して解くことができる。	配布プリント	過去問を解くこと、テキストを熟読しておく
		各コマにおける授業予定	機械工学① 機械力学について		
第39回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	授業内容についての国家試験問題を理解して解くことができる。	配布プリント	過去問を解くこと、テキストを熟読しておく
		各コマにおける授業予定	機械工学② 流体力学について		
第40回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	授業内容についての国家試験問題を理解して解くことができる。	配布プリント	過去問を解くこと、テキストを熟読しておく
		各コマにおける授業予定	機械工学③ 波動と音波について		
第41回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	授業内容についての国家試験問題を理解して解くことができる。	配布プリント	過去問を解くこと、テキストを熟読しておく
		各コマにおける授業予定	機械工学④ 熱現象と熱力学について		
第42回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	授業内容についての国家試験問題を理解して解くことができる。	配布プリント	過去問を解くこと、テキストを熟読しておく
		各コマにおける授業予定	物性材料工学① 生体の特性について		
第43回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	授業内容についての国家試験問題を理解して解くことができる。	配布プリント	過去問を解くこと、テキストを熟読しておく
		各コマにおける授業予定	物性材料工学② 医用材料の条件、安全性試験、生体の相互作用について		
第44回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	授業内容についての国家試験問題を理解して解くことができる。	配布プリント	過去問を解くこと、テキストを熟読しておく
		各コマにおける授業予定	情報処理工学① 信号処理、情報表現と論理演算について		
第45回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	授業内容についての国家試験問題を理解して解くことができる。	配布プリント	過去問を解くこと、テキストを熟読しておく
		各コマにおける授業予定	情報処理工学②		